いきいき はにゅう シルバーだより

公益社団法人 羽生市シルバー人材センター
〒348-0053　埼玉県羽生市南5丁目19-5
電話 048(563)3680　FAX. 048(563)3616
E-mail　hanyuu@sjc.ne.jp
企画・編集　広報委員会

センターの基本理念
自主 自立 共働 共助

本号の主な内容

2面・・・事務局からのお知らせ
東部ブロック役員・局長合同研修会を中央公民館で開催
府中市SJCに「安全就業の取組みについて」を講演 頂きました
3面・・・「ひまわり倶楽部」の活動活発
4面・・・就業先訪問⑩　「プラザふれ藍ショップ」
第7回シルバー祭り作品展より③

熱中症 会員の予防努力、安全巡回などが奏功

この夏、日本列島は猛烈な暑さに見舞われ、各地が観測史上初となる高温を記録しました。炎天下が続く中、会員は用意周到に熱中症対策を実行、また役職員による安全パトロールを実施し、大過なく乗り切りました。事務局はこのほど、今夏の安全活動や事故状況をまとめ、次年度の対策に供することとしています。

安全巡回

夏場恒例の安全巡回は7月9日から9月27日までの22日間、渡邉理事長をはじめ副理事長、事務局長、黒山職員ら延べ53名により、就業先66ヶ所、会員187名を対象に、声がけ・見回りを行いました。

屋外に就業する会員は就業中、こまめに休憩をとり、持参した飲料で水分補給、仲間に気を配るなど、熱中症に注意を払い作業を継続しました。また、発注者と事前協議を行い、就業時間を早朝に繰り上げるグループも見受けられました。

炎天下に一息、休憩・水分の補給をこまめに行い、熱中症を防止した。

一方、巡回者は就業会員一人ひとりに熱中症防止の呼びかけを行い、また安全具の装備状況などをチェック。梅干し・瞬間冷凍材・塩飴を配って回りました。

熱中症

連日の炎天下、熱中症疑いが1件発生。駐車場案内を担当していた会員は自ら体調の異変に気付き、最寄りの病院へ急行、受診後に帰宅しています。

蜂刺され被害

当該期間中、草取り班会員はアシナガ蜂に刺され、近くの皮膚科や内科医で手当を受けました。草刈・植木剪定会員からもそれぞれ蜂刺され被害が報告されています。

蜂刺されは近年増加の傾向があり、今季被害を2度にわたり受けた会員もおり危険な状況です。作業手順書等の見直しや対策を講じる必要があります。

その他賠償保険適用事故

負傷2件　ピッキング作業・草取り作業中、転倒による膝・顔面の強打

物損1件　草刈り作業時、小石飛散による駐車車両の窓ガラスを破損

両件ともセンターが加入する「総合賠償責任保険」が適用されました。

転落事故にも気をつけよう！

秋のセンター行事にご参加下さい！

①街なか清掃活動

日　時　10月31日（水）午前9時～
集合場所　パープル羽生 第1研修室
参加申込　事務所あて、10月26日
※小雨決行です。

②キャッセ羽生清掃活動

日　時　11月18日(日)午前8時30分
集合場所　キャッセ羽生 イベント広場
参加申込　事務所あて、10月26日
※可能な方は「鎌」を、草刈機有資格者は草刈機を現地にお持ちください。
※小雨決行です。

③接遇力向上研修会

日　時　11月30日(金)午後1時30分
集合場所　ワークヒルズ羽生 大会議室
参加申込　事務所に電話可、11月16日まで
内　容　コミュニケーションの誤解が引き起こす苦情と対策
講　師　合同会社アップグロース 代表 宮澤 知繁氏

全ての会員にきっと、お役に立ちます！

事務局からのお知らせ

■新入会員のご紹介

該当期間中、入会希望の方が10数名おります。希望者は規約にある入会説明会への出席や個人面談を終えましたが、理事会の承認が未了です。次号にてご紹介します。

■配分金の支払予定日

月	日（曜日）
11月	21（水）
12月	21（金）
H31. 1月	21（月）
2月	21（木）
3月	20（水）

■入会説明会予定

入会説明会の開催は基本毎月第3水曜日に行います。入会希望者の都合により、都度行うこともあります。友人・知人に是非入会をお勧めください。

■人事異動

採用（平成30年10月1日付）
臨時職員　鈴木　陽美（再）
同　嶺村　弥生（再）

退職（平成30年9月28日付）
臨時職員　黒山清四郎（派遣開拓員）

県シルバー連合 東部ブロック
役員・事務局長合同研修会を開催

去る10月19日午後、羽生市中央公民館4階多目的ホールにおいて県東部ブロック事務局長会（会長・羽生市ＳＪＣ五月女専務理事兼事務局長）主催「平成30年度 東部ブロック役員・事務局長合同研修会」が所属センターの役職員80名の出席を得て開催されました。

現在、東部ブロックに所属するセンターは加須市、久喜市、春日部市、八潮市など14センター。当研修会には全てのセンターから理事長や事務局長、安全担当職員が、当センターからは理事・監事・職員の15名が出席しました。

司会・進行は慣例により当番センター・五月女局長が務め、渡邉理事長が当センターを代表して歓迎の挨拶と共に羽生市を紹介しました。＝写真上＝

開会挨拶する五月女東部ブロック事務局長会会長

研修会のメインは講演。府中市ＳＪＣ常務理事兼事務局長・松田肇氏と同所安全担当職員・石田智也氏が「安全就業にどう取り組むか」をテーマに、約1時間半講演。講演の中で、石田氏は安全就業推進員の立場から、同センターの就業事故の発生状況や原因の分析、安全就業への取組姿勢などを詳しく紹介。質疑応答も活発に行われました。＝写真上・左、この頁はいずれも飯田理事撮影＝

開始から2時間後、当センターの町田副理事長より閉会の挨拶があり、盛会の研修会は終了しました。

ひまわり倶楽部「クリスマス会」を開催します

各自が1個のプレゼント（お家にある物品、包装して）を持ち寄り、くじ引き交換。
一足早く、クリスマス気分を味わってみませんか？
今まで未参加の会員も是非ご参加を！

日　時　11月22日　13時30分～
場　所　パープル羽生
会　費　500円（茶菓代）
※詳しくは事務局にお問い合わせ下さい。

訃報　謹んでお悔やみ申し上げます

若田部完一さん　9月27日、胃がんのため死去、74歳。氏は当センターゴルフサークル「バーディークラブ」の設立に加わり、以来昨年11月末まで同会会長として毎回20名前後が参加する「定期コンペ」に向けて奔走、センター会員の親睦に尽力されました。また、28年には定時総会議長を務めました。

ひまわり倶楽部の活動 活発

ビアガーデン会合

7月27日、今年初となる市商工会主催のビアガーデンが市民プラザ屋上で開かれ、当センターからは「ひまわり倶楽部」のメンバーや当センター役職員、近隣市センターの職員ら約20名が参集、暑い夏の宵を閉店の20時30分まで和気あいあいに楽しく過ごしました。

薄暮の頃入店したひまわり倶楽部の皆さんは前回の会合「藍染体験教室」に参加した面々。各人が思い思いの模様に手間暇をかけ染め上げたTシャツを着こなしてのお披露目参加。会場に姿を見せた河田市長からも「とてもいいネ！」と絶賛されました。

就業を終えての集合。全員が揃うのを待ちきれず、第一次 乾杯！。この頃は18時を過ぎてもまだ明るかった。

夜のとばりが降りた頃、会員たちはますます”絶口調”、飲食量もうなぎ上りに。時の過ぎるのを忘れるほどの盛り上がりを見せていました。

事務局職員もまた今回呼びかけに応じて集まって下さった近隣市のセンター職員らと楽しく談笑、交流を深めていました。

会場に閉店合図の「蛍の光」が流れる8時半、次回会合の開催テーマや会費額などを決め、楽しい余韻をも纏いながら帰宅の途につきました。

猛暑続きの今夏、この会合もまた記憶のアルバムに新たな1ページとして追加されることでしょうか。

和気あいあいの会食後、屋上機械室の壁はジャパンブルーに ＝ストロボ使用

会場内では事務局職員が、馳せ参じた他市センター職員らと和やかに交歓する姿も

○ヨガ教室

9月28日午後、パープル羽生・和室においてひまわり倶楽部会員ら12名の参加によるヨガ教室が開かれました。

「ヨガ」とはサンスクリット語で「つながり」を意味する言葉とか。人間の心と体の健康は密接な関係があり、ヨガは心身の緊張をほぐし、心の安定とやすらぎを得る効果があると言われています。

講師は現在、ホットヨガ、シニアヨガなどフリーインストラクターとしてご活躍の前回ビアガーデンにも参加いただいた渡辺由美子さん。

静かな音楽が流れる中、参加会員は真剣。渡辺先生の熱心なご指導で、様々なポーズに取り組むこと1時間強。心地よい汗を流しました＝**写真下・右＝**

レッスン後、リフレッシュした面持ちの皆さんは会員が持ち寄った茶菓・果物をいただいて「座談会」。「体が軽くなった感じ」「すっきり気分」と早くもヨガ効果を口にしていました。

スッキリした表情の皆さんと渡辺講師（前列右から2人目）。

※ ひまわり倶楽部」次回会合のご案内は2面に掲載しています。

就業先訪問 ⑩　お仕事中 失礼！

市民プラザ ふれ藍ショップ

市民プラザ1階にあるお店「ふれ藍ショップ」は市経済環境部・商工課が管理・運営する文字通りの羽生市名産、武州正藍染め商品ショップ。ここでは藍染めの各種シャツや作務衣、小物入れ、帽子、生地（反物）など市内にある藍染め屋さんや衣料メーカーの製品500点以上を展示・販売している。

このお店には、石橋・三ツ木・本間・田口の女性会員4名の皆さんが1人ずつ日替わりで就業させていただいており、毎月末には全員で棚卸しを行う。チームワーク・連携は良好である。

9月中旬の午後、この日の当番者石橋会員に、非番の3名が忙しい中を「ふれ藍ショップ」に駆けつけ、「全員集合」。取材に応じてくれた。皆さんはさすがに愛想よく、明るくて勤勉、商品知識も豊か。取材中、訪れた来店客にも素早く対応し、丁寧に接していた。彼女らは就業の傍ら、籐細工や人形劇、押し花、コーラス、スポーツ観戦など多彩な趣味をそれぞれが持ち、地域と関りを持ちつつ充実した日々を送る輝けるシルボンヌたち。今後の益々の活躍に期待を寄せ、市民プラザを辞した。

※シルボンヌ(Silbonne)とは英語の「silver」と、仏語の「bonne(女性の「お手伝い」「親切」「優れた」の意)」の合成造語。

昨年、（公財）いきいき埼玉がシルバー人材センターのイメージアップの一環として募集し、応募作品の中から選んだ女性会員の愛称。

一方、男性会員はシルバトラー。「silver」と、独語の「Butler(執事)」の造語。

〈写真・上〉明るく元気、「親切・丁寧」がモットーの皆さん。お店の入り口上部の藍染めの「店名」垂れ幕とともにお客様を迎える。

7thシルバーまつり 作品展より ③

本年2月に開催された「第7回シルバー祭り・作品展」。その記録画像より、芸術的センスに乏しい編集者が独断と偏見により選んだ作品をご紹介します。

■ステンドグラス「フクロウ時計」　細村　静則会員

〈細村さんコメント〉この作品で難しかったのはフクロウの眼球部分。特殊炉に入れたガラス片を電子レンジで加熱、黒目と回りの発色に違いが現れ、嬉しい体験も。

■手芸　「夏向きバッグ」　柏木八千江会員

〈柏木さんコメント〉趣味でバッグやポーチ作りを始めて20年ほど経ちました。このバッグは内ポケット付き。夏場使用する毎に味が出てくるように感じています。

本紙をフルカラーでご覧になれます！

ネット接続したパソコンをお持ちの方は当シルバー人材センターホームページ「情報公開」より、“シルバーだより既刊号”をフルカラーでご覧頂くことができます。

編集後記

▼お盆休みの最中、山口県で2歳児が行方不明になった事件。3日目の朝、大分県から駆けつけた78歳のボランティアが、足跡の途絶えた地点から7百m離れた沢で幼児を発見、無事保護者に送り届けました。氏は長年の活動の経験と勘が幸いしたと語ったそうです、高齢者の面目躍如。幼児の生命力にも驚きと感動が。

▼今年7月23日の熊谷市の気温は日本歴代最高となる41℃超を記録。誰もがいまだかつて経験したことのない猛暑となりました。この異常気象、夏の反動が冬場に現れなければよいが…と心配です。

▼本紙「シルバーだより44号」は本年の最終号。最新記事配信のため、予定より約1週間遅れの発行となってしまいました。一年間のご愛読とご協力に感謝申し上げ、新年を健やかに迎えられますように（M）